

## 第4回意見交換会の開催報告

- 1.日時：令和2年8月12日 15時00分～16時00分
- 2.場所：名古屋市役所 12E会議室
- 3.参加者：「健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動」実行委員会、  
道路公害反対愛知県民会議
- 4.市出席者：緑政土木局企画経理課 上杉主査（企画）  
道路維持課 姫野主査（安全対策）  
道路建設課 山中課長、蒲野主査（事業調整）  
緑地事業課 中村緑地計画係長
- 5.参加者：6名
- 6.当日の次第
  - (1) 開始のあいさつ
  - (2) 世界の「AIOIYAMA」プロジェクトに関する現状報告
  - (3) 入り込み交通対策について
  - (4) 弥富相生山線について
  - (5) 相生山緑地の基本計画の検討について
  - (6) 終了のあいさつ
- 7.主な質疑、意見等（○参加者、●名古屋市）

（世界の「AIOIYAMA」プロジェクトに関する現状報告）

○名古屋市総合計画はどのように策定されたのか。

●当初、世界の「AIOIYAMA」プロジェクトの推進として案を出したが、委員会で緑地と道路を切り分けるべきとの意見が出され、結果として「相生山緑地事業の推進」で掲載している。

○道路と緑地を切り分けるとはどういうことか。

●世界の「AIOIYAMA」プロジェクトは、道路事業の廃止の検討と緑地計画を進める事業であるが、名古屋市総合計画の5年間の計画の中では、道路事業の廃止を進めるのは時期尚早と判断された。緑地事業が道路事業廃止の議論に引っ張られてしまうので、切り分けてそれぞれ進めて行く。

○市長が道路事業の廃止を宣言したのに、道路事業を廃止せず緑地事業を進めるのは納得ができない。

●市長が廃止を表明しても、すぐに都市計画道路が廃止できるわけではない。都市計

画道路の廃止には手続きが必要だが、廃止について地元から理解が得られていない。

- 相生山緑地内道路早期完成協議会は最近できた組織だが、そのような組織の声を通るのか。
- 団体が結成された順番は関係ない。
- 相生山緑地は地域住民だけでなく、市民全体に関係あること。自分の周りの市民は、弥富相生山線の道路事業は止まったと思っている。行政が何をしたいのか、はっきりしてほしい。
- 道路を造ってほしいとした請願の内容を精査せずに、簡単に採択するのはおかしい。相生山緑地のホテルは名古屋城から持ってきて、相生山緑地に放したという話は本当なのか。事実確認をしたのか。
- 請願にあるヒメホテルの件は、その内容が正しいとも間違っているとも捉えておらず、一つの団体の主張として捉えている。
- 請願採択にふさわしいのか。
- 請願は議会に提出され、議会で審議されるもので、行政が干渉できるものではない。
- その請願の採択の結果として、名古屋市総合計画の文言が変わったのでは。
- 名古屋市総合計画についての審議の方が、請願採択の審議より先であった。
- 意見交換会で道路を通してほしいという意見が多かったのか。
- 意見交換会で、(意見の)数を取ってはいないが、「道路を通してほしい」という意見があったのは事実。
- 市長が説明会に出席して市民に説明してほしい。何度もお願いしている。
- 意見交換会でいただいた意見は、検討会議で市長へ報告している。

(弥富相生山線について)

- 緑政土木局の手順が間違っている。市長表明から5年が経ち、何回も弥富相生山線の説明会をやってきた。緑政土木局は「道路は必要なく、廃止すべき」ということを科学的な根拠を示して、もっと明確に説明するべき。道路と緑地を切り離すようにさせたのは行政であり、怠慢である。
- 今までの説明で理解が得られていないので、ご理解を頂くため今年の調査結果を、第5回以降の意見交換会の場で分かりやすい形で提示していきたい。
- 市長の表明は「道路を造るよりも自然を大事にしよう」というものだったが、都市計画道路を廃止するには根拠が必要。緑地のことだけでは道路を廃止する理由に

ならず、廃止しようとするれば、データの積み上げが必要。道路建設賛成反対の両意見があるが、誰かの意見を批判するのではなく、データを示すので、それに対していろいろな視点からご意見いただければと思う。

- 自然を壊す最大のものが道路である。道路推進派の議員は車を運転する人の発想。子どもや老人のことも考えてほしい。
- 島田や鳴子北から来た車により、久方交差点で車が止まる数が増え、久方町内に車が入り込んでいる。今の交通量では、道路はいらぬ。高齢化によって車を手放す人は増えていくと思う。
- 2,3日前に、久方側のフェンス内に工事用車両が置いてあったが、目的は何か。
- 維持管理工事の車両だと思われる。弥富相生山線は工事途中で止まっており、砂防法により沈砂池を設けている。沈砂池は浚渫が必要で、年に1回程度行っている。

(相生山緑地の基本計画の検討について)

- ヒメボタルが持ち込まれたものだとしても、現状、生育している環境を壊していいわけではない。まとまった緑地を残すべきで、道路で分断すべきではない。名古屋市総合計画で後退してしまったイメージがある。相生山緑地は、市内でも大きい緑地なのではないのか。
- まとまりのある緑地としては、東山公園に次ぐ規模である。緑地の利用方法や目指す樹林地の姿など、それぞれの立場で意見の相違があるので、緑地計画の検討会では、緑地そのものがどうあるべきか議論をしたい。
- 市民や名古屋市が行ったアンケートでは、自然を大切にしたいという回答だった。
- 名古屋市が行った市民アンケートでは、自然観察や休息などで緑地を利用したいとの回答が多かった。
- ユニバーサルデザインは当たり前で、市長が言っていた、車いすのツリークライミングはユニバーサルデザインではない。
- 都市計画決定した時と時代が違う。こういった緑地を残すことが、地球温暖化解消のためにも人間にとっても必要だ。
- 相生山緑地は荒れている。見晴台はなくなっており、つどいの広場の椅子も腐っている。手入れはきちんとしなくてはならない。相生山緑地内にある爆弾穴など遺跡をきちんと整備すれば、みんなが来るようになる。
- 相生山緑地の用地買収は進んでいない。もっと緑地に予算をつけてほしい。
- 市内32の長期未整備公園緑地について、整備プログラムを策定し、優先順位をつ

けて事業を進めている。相生山緑地の南部で事業認可を取り、事業認可区域内で用地取得を進めているが、5年から7年はかかる。

○相生山緑地の用地取得にいくらかかるか。

●民有地の用地取得に必要な金額は、平成30年12月の説明会では、「500億円を超えると試算している」と、説明させていただいた。

○相生山緑地内で新しく家を建てて住んでいる人がいる。

●事業認可区域内については、用地交渉させて頂いている。